

山形県内水面漁場管理委員会

会 長 國 方 敬 司 様

平成30年の極端な不漁に関する
緊 急 要 望 書

平成30年11月14日

山形県内水面漁業協同組合連合会

平成30年の極端な不漁に関する緊急要望書

本年の内水面漁業の状況は、サクラマスの上り量が少なく、さらにアユの天然上り量が極端に少なかったことに加え、置賜地域・村山地域を中心として7月まで渇水が続いたことによりアユなどの成育環境が悪化しました。また、庄内地域・最上地域を中心とした8月5・6日並びに8月30・31日の2度にわたる記録的大雨により河川の氾濫・増水が発生し、これに起因する長期にわたる河川の濁り、土砂の流入・堆積及び倒流木による漁場の荒廃が現在も継続している河川が多くあります。

これらの自然災害により、県下全域にわたって遊漁ができない状況が続きました。

特にアユ漁業については、例年並みの13トンの放流を実施したにもかかわらず、最漁期の豪雨災害のため、遊漁者が極めて少ない状況となりました。

このため遊漁料収入の大幅な減少は確実であり増殖経費が回収できず、また、各内水面漁協の経営は依然として厳しく、平成30年度と同規模の増殖事業を平成31年度に実施することは困難な状況となっております。

内水面漁連としては、各内水面漁協の危機的な状況に対応するため、緊急に支援策を講じることを検討しております。しかしながら、各内水面漁協の努力のみでは限界があるため、山形県内水面漁場管理委員会の特段の御理解をいただき、下記事項について措置を講じられるよう強く要望致します。

記

平成31年度増殖数量指示の軽減

平成30年11月14日

山形県内水面漁場管理委員会

会 長 國 方 敬 司 様

山形県内水面漁業協同組合連合会

代表理事会長 島 軒 治 夫